千葉大学附属図書館報

ISSN 1346-6771

InfoPort

TOPICS 休日の開館時間延長 /OPAC 携帯版機能アップ / 図書の再利用 /
亥鼻分館所蔵古医書コレクション目録 / クイックガイダンス /CURATOR1 万件達成

記事 パスファインダーアンケート結果 / @ 千葉大＆MyLibrary/ マナーキャンペーン /

寄稿 アダム・スミスコレクションへの追加（8）（人文社会科学研究科教授　野澤敏治）

新着資料紹介 『The Art of Disney』/『園芸オール Q&A』

予告 ディズニー展 / ニュースブログ配信

No.16 2007.10

Library Topics

開館時間の延長について

附属図書館（分館を含む）では、平成19年10月～平成20年3月までの授業期間中の土・日・祝日の開館時間を試行延長する事となりました。開館時間が10:30～となります。詳しくは図書館ホームページ、掲示等の案内をご覧ください。

蔵書検索OPAC携帯版の機能アップ

千葉大学蔵書検索OPACを携帯電話（端末）から検索できる携帯版OPACが便利になりました。ひとつには、最初の画面に言語選択オプションが付き、英語のインターフェイスでも検索できるようになりました。また、貸出中の図書の予約も可能になりました。携帯版OPACをぜひご自分の携帯にご登録ください。

携帯版OPAC： http://opac.LL.chiba-u.jp/mobileopac/

図書の再利用について

附属図書館本館では，重複本で保存を要しない廃棄予定図書を【Mottainai】ので、教員，学生等利用者の皆さまに利用希望図書を引き取ってもらっています。

この6月には，約4000冊の廃棄予定図書から約8割近くの図書が再び利用者の手に渡り、利用されています。

亥鼻分館所蔵古医書コレクション目録刊行

亥鼻分館所蔵の古医書コレクションの目録が完成し、平成19年3月刊行されました。

目録完成に続いて、コレクション中より貴重書を選んでデジタル化を行い、公開を予定しています。

書名：『千葉大學附属圖書館亥鼻分館古医書コレクション目録』

【本館学内出版物コーナ 029.7/CHI】、【亥鼻参考 029.7】にて閲覧できます。

クイックガイダンスの開催

附属図書館（本館）では，7月9日から13日の1週間にわたり、20分程度の短い時間でポイントだけをコンパクトに説明するクイックガイダンスを開催しました。内容は、蔵書検索、論文検索、電子ジャーナルの使い方等です。本館１階のオープンスペースで行い、その場で立ち寄った方にも好評でした。同時にスタンプラリーも行い、3回以上の参加者には好評の図書館リブバッグを差し上げました。

CURATORにて公開中のコンテンツが1万件に達しました

千葉大学学術成果リポジトリ(CURATOR）の収録件数は増加を続けており、今年6月8日に1万件目の公開をむかえました。

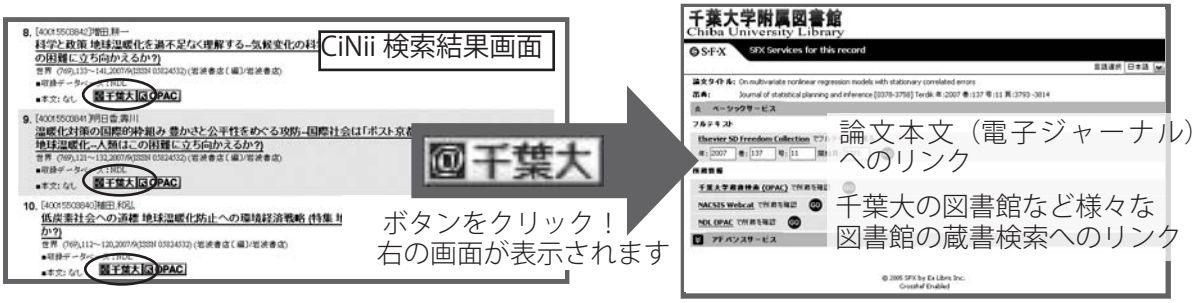
1万件目となった論文は石垣教授(看護学部)他著"The current state of the center for the creation and dissemination of new Japanese nursing science: The 21st century Center of Excellence at Chiba University School of Nursing"です。

論文はこちらからご覧いただけます。　CURATOR： http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/

表紙：本館所蔵資料 Verneuil M.P. 『L'animal dans la décoration』よりPL.21

ご存知ですか？①　「@ 千葉大」　電子ジャーナル、OPAC 等へのリンクが便利になりました

文献情報データベース（Scopus、CiNii、EBSCOhost など）を千葉大学の中で検索すると検索結果の画面で各論文毎 @千葉大 にというボタンが表示されます。



ボタンをクリックすると千葉大学で見られる電子ジャーナルへのリンクが表示されるので、「電子ジャーナル AtoZ」で調べなくてもすぐに本文が見られます。
電子ジャーナルがない場合でも、千葉大の蔵書検索の検索結果へのリンクが表示されているので、再検索はもう不要です。

ご存知ですか？②　「MyLibrary」　貸出状況の確認等ができます

MyLibrary は、皆さんそれぞれのための、大学、自宅、どこからでもアクセスできるポータルサイトです。
http://opac.ll.chiba-u.jp/mylibrary/（図書館ホームページ、蔵書検索からもリンクがあります。）

MyLibrary の機能

- 利用者情報（ID, 氏名 ,e-mail アドレス , 有効期限）
- 利用状況（貸出冊数、予約件数、ドキュメントオーダー複写 / 貸借件数）
- 電子ジャーナル、他機関の蔵書検索、データベースのリンク集
- 自由に作れるブックマーク（お気に入り）
- パスワードの変更

ログインには、学生証に書かれている図書館登録番号を使います。（学生証下部、または顔写真下）
教職員の方は、お手数ですが、各図書館のカウンターにお問い合わせください。

「マナー向上キャンペーン」を実施！！

附属図書館では、7 月 5 日（木）～ 7 月 13 日（金）に「マナー向上キャンペーン」を実施しました。学生・教職員をはじめとする利用者が快適に学習・研究活動ができる環境を維持するため、「飲食禁止」「携帯電話通話禁止」「喫煙禁止」などのルールを決めていますが、残念ながら守られていないのが現状です。

図書館利用のマナーを利用者に知ってもらうことを目的とし、期間中、本館（西千葉キャンパス）展示コーナーにおいて、館内利用状況の写真や書込みがされた資料の展示も併せて行い、図書館の利用マナーに対する関心を集めました。今後も利用者へ図書館マナーを知ってもらう取り組みを継続して行います。

本館での展示の様子

パスファインダー　アンケート報告

パスファインダー
（神話・昔話を読む１・２）

平成19年4月12日、普遍教育の開講日の同日、図書館ホームページ上と本館 1 階にコーナーを設置し、パスファインダーを公開しました。

図書館でいうところの「パスファインダー」とは、あるテーマについて初めて学ぶ時の道しるべ（PathFinder）となる、基本的な文献・情報源をまとめた 1 枚もののリーフレットです。また、そのテーマに関するキーワードも提示し情報検索に役立つように作られています。主にアメリカの大学図書館で学生向けに作られており、日本でもいくつかの大学図書館で、テーマ別のパスファインダーを作成して公開しています。

千葉大学では、このパスファインダーを授業に活かそうと、普遍教育教養コア科目 A、C、D の一部である 15 人の先生方と図書館のプロジェクトチームが共同でパスファインダーを作成しました。

今回の千葉大学のように授業と密接に連携したパスファインダーは全国でも珍しい事例で、他大学の図書館からも注目を集めています。

パスファインダーは、今年度が始めての試みであり、図書館としては先生方、学生さんからの声を知りたく、アンケートを行いました。

学生向けとしては、普遍教育センター（評価部）実施の「『学生による授業評価』アンケート（教養コア科目）」に「パスファインダーを知っているか」、「パスファインダーを利用して授業の役に立ったか」という 2 つの質問を入れて頂きました。

学生さんからの回答では、パスファインダーを知らないという声が多くあり、どのように広報していくかがこれからの重要な検討課題であることを実感しました。

作成にご協力頂いた先生方には図書館で作成したアンケートをお願いしました。「パスファインダーを授業で使いましたか」、「パスファインダーは学生の学習に有益でしたか」という 2 つの質問の他にパスファインダーの作成時期や学生への周知方法等々、パスファインダーについてのご意見を書いて頂きました。

先生からは、「学生に配布した」、「学生に紹介した」という回答が大半を占めました。パスファインダーは有益でしたか」という質問に対しての回答では、「周知徹底できなかったものの、基本的文献はすでに示してあるという安心感を学生と共有できた」、「図書館で参考図書を実際に手に取ってみたという学生がいた！」、「短い本の紹介文をつけていただいて助かりました」、「かなり興味を持って見てくれていますし、ここから他の資料を検索するなどの利用もあったのではないかと思います」など、パスファインダーが有益であったというご意見を頂きました。その一方、「学生さんにより効果的に周知できる方法があればよいのですが…」、「教養コアの 1 回目の授業（ガイダンス）時に学生に伝えるのがよいと思います」という広報についてのご意見もありました。

学生へのアンケートと先生へのアンケートの結果を合わせると授業で配布・紹介はされているが、「パスファインダー」という名称が学生に伝わっていないという点が浮かび上がってきます。

これらのご意見を踏まえ、パスファインダーの名称についての再考や効果的な周知方法の検討を既に開始しています。（例えば、授業の 1 回目までに配布用のパスファインダーを先生にお渡しするといったことも考えています。）

最後になりましたが、パスファインダーの作成やアンケートの実施などに際し、多大なご協力を頂きました先生方、普遍教育センターの皆様に、深く御礼申し上げます。

ご協力くださった先生方

【コア A】
越谷重夫先生（理）　数理 2・4
高橋久一郎先生（文）　哲学 5、倫理 5
法野谷俊哉先生（非常勤講師）
哲学 4、倫理 1・3・7・8
望月由紀先生（看護 COE）　倫理 6
吉永明弘先生（公共研究セ）　倫理 2

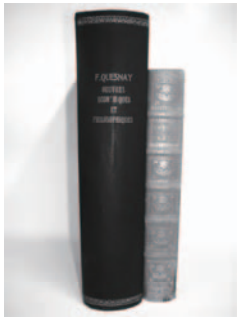
【コア C】
上村清雄先生（文）　イメージの歴史 1・2
加藤隆先生（文）　キリスト教を考える
鈴木宏子先生（教育）　平安文学を読む 1・2
高橋信良先生（言語セ）　演劇入門 1・2
三浦佑之先生（文）　神話・昔話を読む 1・2

【コア D】
岩城高広先生（文）　東南アジア史 1・2
西埜晴久先生（法経）　経済学
宮崎隆次先生（法経）
近現代日本の都市と農村 1・2
山田賢先生（文）　東アジア史 1・2
善積康夫先生（法経）
財務諸表の見方 1・2

CONTRIBUTION

アダム・スミスコレクションへの追加（8）

人文社会科学研究科教授　野澤敏治



ここに紹介するものはフランスの古典経済学者 F. ケネー（1694 - 1774 年）の二つの著作集である。

1）Physiocratie, ou constitution naturelle du gouvernement. Recueil publié par Du Pont. Leyde et Paris. M.DCC.LXVIII
Seconde Partie. Discussions et développemens sur quelques-unes des notions de l'économie politique. Leyde et Paris. M.DCC.LXVII.
（但し、これは 1987 年にドイツで刊行されたファクシミリ版である。原本は小樽商科大学シェール文庫にある）

2）Œuvres économiques et philosophiques de F. Quesnay. Publiées avec une introduction et des notes par Auguste Oncken. Francfort et Paris. 1888.

1）はケネーの弟子デュポン・ド・ヌムールの編集になる著作集（1767－68 年）であり、そこに「経済表範式」が載る。だがデュポンは師の理論よりも政策を重んじ、その政策も穀物貿易の自由を強調して他の単一地租論を軽視していた。彼は師の「金利論」（利子率規制論）にも反論すべきものを見ており、それをこの著作集から外す。この点で彼は誠実な編集をしていない。

2）はA．オンケンが編集した本格的なケネー著作集である。オンケンは「アダム・スミス問題」――スミスはフランスに渡って啓蒙思想家やケネーらと交わるが、その前は利他心の倫理学者であったのに、後は利己心の経済学者に転換した――の提起者である。彼はケネーをスミスに比肩する経済学者とみなし、最初の経済学理論の体系を生んだ人と評価する。ケネーは 1774 年に亡くなるが、スミスは彼が存命しておれば、『国富論』（1776 年）を捧げるつもりであったらしい。『国富論』は成功し、ケネーはその後低く評価されていく。オンケンはその理由をスミスが『国富論』でケネーを不利に扱ったからだと述べる。オンケンはそのケネーの復権を求めて、ケネーの哲学的・経済学的著作の全般を集め、伝記的資料をつけて公表する。（但し、医学関係の専門論文は少なく、経済学文献もその後に発見された経済表「原表第一版」・「第二版」・「第三版」や「人間論」・「租税論」は入っていない。）編集は原文の誤りをそのままにしておくほど厳密であり、注も綿密かつ批判的である。

日本ではケネー研究は戦前から戦後にかけて比較的盛んであった。ケネーと言えば、一枚の「経済表」で有名であるが、その解明に何人もの人が多大の時間を割いてきている。ケネーにそれだけの価値があるからである。経済学の歴史は今日に至るまでイギリス経済学が主流であるが、フランス経済学にも独自の貢献がある。加えてイタリアやドイツ、アメリカ、そして日本にも（！）。その主流の中のスミス経済学にしても、実はケネーとの接触がなければ生誕しなかったと思われるほどに、ケネーから大きな刺激と影響力を受けているのである。

ケネーの意義を簡単にあげておこう。

彼は後の数理経済学の祖とみなされることがあるが、それは抽象的でなく統計実証的で経験的な基礎を踏まえたものである。彼は人間の知性を感覚に基づかせる。知性は一般的な観念を用いるが、それは実体としてあるのでなく、感覚的に得られた事実を再生・加工し、真実に迫っていくための道具とされている。また彼は概念を、事業家が沢山ある書類の中から調べる必要のあるもののありかを示すために用いる「付箋」とみなす。これはノミナリズム的な認識論である。

ケネーはフランスの農業経済事情を調査し、数量化したものを集計する。その分析は実に周到で体系的である。最初に現状を次のようにつかむ。栽培作物ごとに・経営規模ごとに、それぞれ土地生産性や土地単位当り・作物単位当りの価格、土地単位当りの総経費と剰余価値量、作物総生産高に占める利害関係者の取り分が計算される。それらを合計するとフランス一国の現状が分かる。次に政策を変えた場合の「自然的秩序」のもとでの理想値が計算され、現状との比較がなされる。

ケネーは以上の経験論的認識と統計調査および数理的分析の上に、自然法思想を入れて、一国経済のマクロ的再生産過程＝「経済表」を作図する。それは社会の三階級の支出と収入の間の複雑な連関を、農工２部門間の物的・価値的補填の関係を、ただ一瞥しただけでつかむための工夫であった。これはスミスに優るものである。

以上のことと別に、スミスがケネーから刺激を受けたり学んだと思われることがある。自由競争下での商品の等価交換と生産における価値作出論、貿易差額＝富観念と貨幣階級の「非」国民経済学性の批判、国内市場重視論、重商主義の国家構造分析と新たな国家構想、等。

経済学の歴史は単純発展でなく、かなりジグザグである。後代のものが先代のものより優れているとは必ずしも言えず、どの経済学にもその対象領域・成立事情・方法において個性がある。経済学は一つでなく。「諸」経済学なのである。

新着資料紹介

新着資料の中から毎回数点ずつご紹介します

『The Art of Disney : ディズニー・アート展のすべて』（DVD）
【本館1階視聴覚資料 778.77/ART】

昨年、米ウォルト・ディズニー社製作の初期アニメーション映画の原画約 250 点が、千葉大学工学部で４５年ぶりに発見されたニュースは、世間の大きな話題になりました。
このＤＶＤは，東京都現代美術館で「ディズニー・アート展」として公開された模様を映像化したものです。これを見ると、改めてディズニーの原画のすばらしさがよくわかります。

『園芸オールQ&A : 千葉大学園芸学部の専門家が答える : 草花、花木、果樹、野菜… 』
【松戸閲覧室 620/C】【本館閲覧室3階 620/ENG】

園芸学研究科・園芸学部にはこれまで様々な園芸相談が寄せられておりました。それぞれに教職員が直接回答を差し上げておりましたが、2002 年 12 月より学部ホームページの園芸相談コーナー開設を機に、広く一般の方々にもお役立ていただけるように，寄せられた質問・回答を公開することになりました。（現在，リニューアルのため一時休止中）
本書はこれをもとに草花、花木、果樹、野菜などの分野ごとに配列し、専門家による適切な回答が付けられています。内容は，読みやすく理解しやすいかたちに，かみくだいた文章で解説することを心がけて作られた，ユニークな園芸書です。植物栽培に興味をお持ちの方には是非おすすめしたい一冊です。

予告

千葉大学が保有するディズニー・アニメーション・オリジナル画複製展開催

10 月 24 日 (水) ～ 11 月 30 日 (金)　於：附属図書館本館 1 階展示ホール
工学部で発見されたディズニー・アニメーション・オリジナル画のデジタルデータからのプリントを展示します。あわせて工学部で発見された経緯と工学部の歴史に触れる展示を行います。

図書館ニュースを RSS で配信

図書館では１０月下旬にニュースブログを立ち上げます。
ニュースは RSS で自動受信できますので、ぜひ RSS 登録してください。

図書館には、こんな貸出サービスもあります

たくさん本を借りたときにはバッグをお貸しします　（本館）

「せっかく本を借りたいのにバッグに入りきらない。」そんなときは受付カウンターでバッグも貸出いたします。本を返却する際にバッグは受付カウンターへお返しください。

電子辞書お貸しします（本館）

本館 1 階受付カウンターで貸出していますのでご利用ください。
利用条件：学内者限定、3 時間以内、図書館内の利用に限ります

千葉大学附属図書館報 InfoPort No.16　平成 19 年 10 月発行

編集・発行 千葉大学附属図書館
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33　TEL: 043-290-2262　FAX: 043-290-2266
http://www.LL.chiba-u.ac.jp/